

11/15

## より強力な医療救護体制で災害に備える

市はこの日、筑紫医師会との間に「筑紫野市地域防災計画に基づく災害時の医療救護活動に関する協定」を締結しました。

筑紫医師会は、筑紫地区の5市の医師で構成し、検診事業や休日夜間救急事業など、さまざまな地域医療の取り組みを行う団体です。

この日締結した協定により、筑紫医師会は、災害時などに市の要請により、災害現場や避難所などに設置する

### 災害時の医療救護活動に関する協定を締結

救護所に医療救護チームを派遣します。また、緊急時には市の要請を待たずに医療救護チームを派遣します。

筑紫医師会の石橋 正彦会長は「災害が起こったときに何をすべきか、今まで以上に行政と連携し、取り組んでいきたい」と話しました。

藤田市長は「この協定により、いつ発生するか分からない災害時に、より迅速な医療救護活動が行えると確信しています」と話しました。



11/17

## これからも「みなさん一人ひとりが福祉の主役」を合言葉に

### 法人化50周年記念 筑紫野市社会福祉大会

筑紫野市社会福祉協議会（社協）は、昭和43年に社会福祉法人として認可され今年で50周年を迎えました。これを記念した福祉大会が開催され、社会福祉に貢献した皆さんへの表彰、感謝状贈呈や記念講演が行われました。

大阪府豊中市社協の勝部 麗子さんによる記念講演では「ひとりぼっちをつくらない、あきらめない」という思いに基づく実践活動が語られ、誰もが住みやすい地域づくりを考える機会となりました。



優良社会福祉地区として会長から表彰された天拝坂区の子育てサロン

11/12

## 命の守り方を楽しく学ぶ

### 女性消防団が二日市保育所の避難訓練を訪問

市立保育所では毎月、園児と一緒に消火避難訓練を行っています。この日、二日市保育所で行った訓練では、筑紫野市消防団本部分団女性班（女性消防団）が訪問し、紙芝居「もりのしょうぼうだん」の読み聞かせや、避難時の注意点の説明などを行いました。

女性消防団が避難時の注意点について質問すると、園児たちはすぐに「こうするんだよ！」と話すなど、日ごろの避難訓練で学んだことを楽しく再確認していました。



避難時の注意点では寸劇を披露し、園児たちは大盛り上がり

# ちくしのクリップ

11/25

## 「わくわく」が笑顔をつくる

わくわくダンボールあそび

二日市東小学校の体育館で開催した「わくわくダンボールあそび」に、地域の児童など90人が参加しました。

市主催の、子どもの体験活動応援講座「わくわくあそび塾」の受講生が企画・運営したこのイベント。子どもたちは、秘密基地やキャタピラーを自由に作り、夢中になって遊んでいました。

受講生の皆さんは、子どもたちの「笑顔」をつくるため、講座で学んだことを家庭や地域で生かしていきます。



受講生は、子どもと触れ合いながらイベントを運営しました

11/18

## 思いの詰まったタスキをつなぐ

第5回市町村対抗「福岡駅伝」

県営筑後広域公園において、第5回市町村対抗「福岡駅伝」が開催され、県下60市町村が参加する中、筑紫野市は22位の成績を取めました。

この駅伝は、30.1キロを中学生からシニア(40歳以上)の精鋭9人で走るもので、学生から社会人へ、女性から男性へとタスキをつなぎました。沿道では応援団が声からして選手に楳(げき)を飛ばし、選手は任された区間を激走、次のランナーへタスキを懸命に届けました。



タスキをつなぐ筑紫野市チーム

11/29

## 税を学び、税を思う

「中学生の税についての作文」表彰式

税への理解を深めることなどを目的に募集した「中学生の税についての作文」の表彰式を市役所で行いました。

教育長賞を奥野 萌衣さん(筑紫野中3年)、納税貯蓄組合連合会会長賞を大津 万由子さん(二日市中3年)、筑紫法人会会長賞を竹尾 日愛里さん(天拝中3年)が受賞。筑紫野市長賞は「未来を支える税金」と題し、消費税の用途を調べ「自分の生活は税金に支えられている」と書いた稲富 恵衣さん(筑紫野南中3年)が受賞しました。



賞状を手にする受賞者の皆さん

11/19

## 誠実な牛飼いが評価される 筑紫野育ちの美味しい和牛

三宅 貞行さんが紫白綬有功章の受章を報告

市内常松で畜産業を営む三宅 貞行さんが農事功績表彰の最高位「紫白綬有功章」を大日本農会の秋篠宮親王総裁から受章され、この日、藤田市長に報告しました。「博多和牛」ブランド発足に尽力するなど安全でおいしい牛肉の生産に努める三宅さんの功績が認められたものです。

三宅さんは「支えてくれる皆さんに感謝します。次は2022年に鹿児島で開催される第12回全国和牛能力共進会に目標を定めて頑張りたい」と話してくれました。



藤田市長に報告をする三宅 貞行さん(中央)と妻の静代さん(左)